

【事業所名：まっくびーレジデンス大垣】

| 項目 | 評価の視点 | 実地状況等【具体的な内容】 | 協議会委員からの要望・助言・評価 | 事業所 回答 | |
|--------------|-------------------------------|--|--|--|--|
| 1. 地域に開かれた運営 | 実習生やボランティア等の受け入れ | <div>・ 受入人数：実人数</div> <div>0 名</div> <div>・ 実習等受入事例</div> <div>なし</div> | <div>①実習生やボランティアの受け入れがありませんが、この間、受け入れができなかった理由を教示いただきたい。また、実習生やボランティアの受け入れに關しての事業所としての考えを教示いただきたい。</div> <div>②地域に開かれた運営は大切であり、計画的な交流の機会を設けてください。（夏にどのような計画があるのか）</div> <div>③地域住民との交流の機会がまだ少ない。実習生やボランティアの受け入れを多くして地域に認められる努力をして欲しい。</div> <div>④実習生やボランティア等の受入れの実績がないので、今後は積極的に受け入れ、地域に開かれた運営を目指して欲しい。</div> <div>⑤ボランティア等の受け入れを実施していない。地域住民との共生、相互理解のためにも実施されると良いのではと考える。</div> <div>⑥地域に開かれた運営というのは難しいかと思いますが、ある地域では自治会と協力して、一緒に夏祭りをしているところもあります。</div> <div>⑦災害時、緊急時の備え、近隣住民や自治会との関わりやつながりを積極的に設けていただきたい。</div> <div>⑧今年度から義務化された地域連携推進協議会は必ずやって欲しい。</div> <div>⑨地域連携推進会議等の開催など活用し、利用者の方と地域との関係づくりやサービスの透明性に努めてもらいたいです。</div> | <div>①～⑦</div> <div>・ 実習生やボランティアの要請がなかった為、受け入れがなかった。要請があれば受け入れをしていきたい。</div> <div>・ 近隣の方や利用者様、ご家族様に声をかけ夏祭りを開催予定である。</div> <div>⑧～⑨</div> <div>・ 7月19日（土）地域連携推進会議を初めて開催できた。数名のご家族様には参加いただくことができ、来年度は地域推進会議を皆様に知っていただき、交流を深めていきたい。</div> | |
| | 地域住民との交流の機会の確保 | <div>・ 交流機会の事例</div> <div>前年度なし 今年度 夏ごろに予定</div> | | | |
| 2. 短期入所の併設 | 地域で生活する障がい者の積極的な受け入れ | <div>・ 利用者数 令和6年度</div> <div>5名（うち大垣市の支給決定0名）</div> | <div>①短期入所の緊急受け入れがありませんが、ニーズがなかったのでしょうか。それとも、事業所の体制や支援の問題、または他の理由からでしょうか。教示いただきたい。</div> <div>②受入人数は0名とのことです。依頼はありましたか。どのくらい応じていただけるか分かったと良いです。</div> <div>③入居希望者によるが知的障がい者、特に障害支援区分5.6に当たる人を積極的に受け入れてほしい。また、医療的ケアの必要な人の短期入所もしっかり受け入れられる体制づくりをして欲しい。</div> <div>④緊急的利用のニーズがある場合、受け入れができる体制がとれるよう、今後も努めていただきたい。（緊急でも安心して入ることができる運営を目指して欲しい）</div> | <div>①～④</div> <div>・ 短期入所については、緊急の受け入れ要請がなかった。男性棟は満床の為受け入れはできません。女性棟は空室があるため、要請があれば受け入れをしていきたい。</div> | |
| | 緊急的利用のニーズへの対応 | <div>・ 緊急受入人数</div> <div>0名 (令和 年 月 日 ～ 年 月 日)</div> <div>・ 緊急受入れの事例</div> <div>なし</div> | | | |
| 3. 支援の実施 | 利用者が充実した地域生活を送るための外出や余暇活動等の支援 | <div>・ 外出や余暇活動等の事例</div> <div>散歩 買い物に行く</div> | <div>①職員数、職員の労働環境について知りたい。利用者も高齢化してくると思われるので充分な人材の確保をお願いしたい。</div> <div>②研修について、e-ラーニングでどのような研修をしているのか明記ください。e-ラーニングは、学習形態のことだと思いますので、具体的な研修の内容を教えてください。</div> <div>③支援スキルの向上をめざし、もっと積極的に研修に参加して欲しい。また、資格の取得も考慮に入れ、努力してもらいたい。まだ、研修等の参加が少ない。</div> <div>④グループホームでの虐待ニュースが連日聞かれる中ですので、支援者の研修をもっと積極的に行っていただきたいと思います。外部講師や協議会での研修も活用していただけるとより良いと思います。</div> <div>⑤研修の機会がかなり限られている。人材育成、資質向上が入居者の生活の質向上につながると考える。</div> | <div>①～⑤</div> <div>・ 研修（e-ラーニング）では、過去の事例からコンプライアンス研修、顧客対応力、現場対応のクオリティー向上のためAIツールスキルの強化（業務時の疑問解消）も行い、労働環境の改善につなげていきたい。</div> | |
| | 支援の質の確保（資格取得・研修等） | <div>・ 取得した資格、参加した研修等</div> <div>e-ラーニング研修 参加者4名</div> | | | |
| | 重度化・高齢化等へのニーズへの対応 | <div>・ 対応事例</div> <div>短期入所利用されていた方が63歳となり障がい者か高齢者に入居か悩まれ担当者会議が行われ参加する。</div> | | | |
| | 体験的利用のニーズ | <div>・ 体験利用人数</div> <div>0 名</div> <div>・ 体験利用の事例</div> <div>なし</div> | | | |
| | | 日中、土日を含めた常時の支援体制の確保 | 日中サービス支援型共同生活援助なので日中も夜間も24時間体制で常時2～4人が必ず支援を行えるようにしている。 | | |
| | | | | | |

| 項目 | 評価の視点 | 実地状況等【具体的な内容】 | 協議会委員からの要望・助言・評価 | 事業所 回答 | | | |
|--|-----------------------------|--|------------------|--|--|------|----|
| 4. 利用者の状況 (R6. 4. 1～R7. 3. 31) | 利用者数（実人数） | 17名 | | ①難病がある利用者が3名入居していることは評価できる。医療的ケアの必要性が1名みえるとのことであるが、医療依存度はそれほど高くはない方と思う。医療依存度が高い方が相談にみえた場合も対応していただきたい。 | ①今後も医療依存度が高い方でも受け入れる方向でいます。 | | |
| | 障害種別（重複はそれぞれ計上） | 身体 | 9名 | | | 知的 | 2名 |
| | | 精神 | 5名 | | | 難病等 | 3名 |
| | 利用者の障害支援区分 | 区分6： | 2名 | | | 区分5： | 6名 |
| | | 区分4： | 5名 | | | 区分3： | 4名 |
| | | 区分2： | 名 | | | 区分1： | 名 |
| | | 区分なし： | 名 | | | | |
| | 利用者の障害特性等 | ・医療的ケアの必要性、強度行動障害のある利用者的人数 17名中 1名 | | | | | |
| | | ・他の日中活動の利用状況 17名中 8名 | | | | | |
| | 他の日中活動サービスの利用 | ・主な他の日中活動サービス利用先 生活介護 3名・就労継続支援A型 1名・B型 3名 | | | | | |
| ・入居募集方法や申込状況 | | | | | | | |
| 病院や相談支援事業所へのパンフレット持参しての営業活動・近隣の市町村の相談員さんからのお問合せ等 | | | | | | | |
| 5. 報告事項 | 利用者又はその家族からの苦情を解決するために講ずる措置 | ・苦情解決処理体制、手順 | | ①虐待防止への取り組みを充実してください。スタッフ会議だけではなく、外部研修への参加やマニュアル作成、チェックリスト管理などを実施してください。 | ①マニュアル作成などの取り組みをしていきたい。 | | |
| | | 管理者が本社と協議しながら対応をする。 | | | | | |
| | | ・苦情対応事例 | | | | | |
| | | ― | | | | | |
| | 虐待防止・身体拘束適正化の取り組みについて | ・虐待防止、早期発見のための取り組み | | | | | |
| | | 月1回のスタッフ会議にて虐待防止の研修の実施 | | | | | |
| | | ・虐待発生事例、対応事例 | | | | | |
| | | ― | | | | | |
| 6. その他 | 運営の特色・工夫等 | ・設備面での障害特性等への配慮 | | ①居室内介護ベットの用意（短期入所室）とあるが、どの程度の機能のもの（製品名）を導入していただいているのか知りたい。なるべく重度の方にも利用しやすいものであって欲しい。 ②災害時、緊急時の避難はどのようにしたらよいか、マニュアルとか訓練、地域の協力はありますか。 ③管理者、サビ菅の定着をお願いします。 ④地域住民とのコミュニケーションを取り、地域活動等への参加も可能な限り行うと良い。 | ①居室内介護ベットはパラマウントベット（型番号AB62P-02-02844）スリーモーターで重厚な作りのベットを使用している。 ②災害時のBCPを作成し、マニュアルを職員に周知しており、年一度避難訓練を実施している。 ③管理者サビ菅の定着については、職場の環境を整え、長く勤められるよう努めて参ります。 ④今年度の地域推進会議の開催を足掛かりに、地域との関わりが持てる様にしていきたい。 | | |
| | | 前面バリアフリーエレベータ設置・女性階男性階ともに車椅子対応のトイレがあります。浴室もリフト浴槽が使用できます。食堂テーブルは、車椅子の方が楽に座れる高さになっています。短期入所室には介護ベットを用意しています。 | | | | | |
| | | ・運営面での特色等 | | | | | |
| | | ・意思決定ガイドラインに沿って支援できるようにサービス管理責任者と管理者補助でアセスメントを行い個別支援会議時に本人の意思の推定、最善の利益判断を意識して個別支援計画に反映されるように努めています。 ・日中活動のプログラムを組み、大きく創作活動と運動活動プログラムを分けて日中に1時間程度過ごせるようにしています。 | | | | | |
| | 特記事項 | | ― | | | | |
| | | | | | | | |
| 7. 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降） | 要望・助言への誠実な対応 | ・要望・助言の内容及びその対応 | | | | | |
| | | ・重度の方の受け入れ：パルーンを留置している指定難病の方がおり、移乗にリフトを利用したりしながら対応をしている。 | | | | | |